

P 計画の基本事項				
基本目標	2 読書に親しむ環境づくり			
施策	(2) 資料の充実と効率的な活用			
施策の方向性	「大野城まどかぴあ図書館資料収集方針」及び「大野城まどかぴあ図書館資料選定基準」に基づき、各世代のニーズに応じた図書館の資料の充実を図ります。 また、図書館のリサイクル本や団体貸出を活用し、市内各施設の資料の充実に取り組みます。			
主な取組	①資料の充実			
	②団体貸出の促進			
	③図書のリ活用			
成果指標	図書館の貸出冊数 (※電子図書館の貸出を含む。)	策定時点	目標値(R9)	
		783,794冊	793,000冊	
D 令和6年度(具体的な事業実施状況調査より)				
評価指標	重点事業	指標	実績(R6)	目標値(R6)
評価指標	図書館でのリクエスト受付	リクエストに対して提供した割合	89.5%	90%以上
主な取組の実施状況及び今後の方針	①資料の充実		達成状況	
	<p>◆まどかぴあ図書館において、利用者のリクエストに対して、購入するほか、出版年が古いものや専門性が高い資料については、県内の図書館、大学、県外の図書館からの借受によって対応し、結果として約90%の高い提供率を維持した。引き続き、利用者からの要望には可能な限り応じつつ、収集基準に基づいた資料の選定と提供に努めていく。</p> <p>◆学校図書室で児童生徒や教職員から図書のリクエストを募ったが、予算上の制約で全てを購入できなかった。今後もリクエスト受付は継続しつつ、予算の限りから、資料の充実を図るためまどかぴあ図書館の団体貸出を積極的に利用し、資料の充実に努めていく。</p> <p>◆電子図書館では、ライセンスの貸出回数や期限といった条件を考慮してコンテンツを選書した。今後も引き続き、魅力ある資料を選定し、利用者の増加に繋げていく。</p> <p>◆広報誌「大野城」や「市制施行50周年記念市勢要覧」を電子図書館で提供した。ふるさと館でも発掘調査報告書9件の電子化を実施し、「大野城市の文化財」55集や紀要・年報をHPで公開することで学習支援に貢献した。今後は、電子化した発掘調査報告書の公開を進めるとともに、令和7年度より寄贈された竹田家文書の本格的な整理作業に着手し、HPでの公開に向けた準備を進めていく。</p>		②期待どおり	
	②団体貸出の促進		達成状況	
◆まどかぴあ図書館からの団体貸出の新規・更新団体は増えた		②期待どおり		

	<p>が、利用規則の周知不足により、貸出や備品の利用時に混乱が多発した。今後は規則を整理して各団体への周知を徹底すると共に、ニーズを把握し、資料や備品の充実を進め、適切な時期に貸出を実施していく。</p>	
	③図書の再活用	達成状況
	<p>◆まどかぴあ図書館では、除籍資料の優先配布と市民への配布を年3回実施した。優先配布の参加団体が固定化しているため、今後はPR方法を検討する必要がある。除籍図書の有効利用を図るため、この活動を継続して行くとともに、要望に応じて企業や団体への提供も検討していく。</p>	②期待どおり
C 評価		
推進委員会 評価	◆進捗状況は「達成状況」に記載のとおり。	
検討が 必要な事項	◆なし。	
A 改善		
改善結果		